

団体名

港まちなんがわプロジェクト

団体概要

名古屋港エリアで若手向けのまちづくり勉強会を行い、まちに関わる若手プレイヤーを増やすきっかけ作りを行います。

活動名：Meets Minatomachi

1 活動の目的

街には様々な課題があり、その一つに担い手不足という問題がある。特に大学生～20代の若手は関心があれど、まちづくりとの関わりしろが薄く、学んだり、ともに考える場が少ないため、まちづくり（場づくりなど）を学ぶ場を作りたい。

2 活動内容

スタディグループinみなとまち

年間を通して、トークイベントを含んだ月に1度の勉強会を開催

勉強会

若者が“まちづくり”をキーワードにしたコミュニティを形成し、関わるメンバーがまちづくりについて、どんなことを学んでいきたいかをそれぞれで設定し、実践のなかで学ぶことを目的として活動してきました。

トーク視点をずらしてまちづくりを考える

企画者の視点、調整者の視点として、岡崎でANGLEというホテルを始めた飯田圭さん、ワークショップデザイナーの荒井慶悟さんをお招きし、「まちづくりってなんだろう」、「自分が街でできることってなんだろう」といった、まちづくりの解像度を上げるためのトークイベントを開催しました。



3 活動の振り返り

目標：まちづくりに関心をもつ人が一歩実践的に街に関われるコミュニティの育成

コロナによって、トークイベントのタイミングの変更が発生したことは課題点として挙げられるが、トークをきっかけに勉強会へ参加する人、参加したい人は増え、第一歩であるコミュニティの立ち上げは十分達成できたと考えています。

工夫した点

まちづくりのことを同世代で話すこと自体が稀であるため、お互いのことを知る時間は多くとるようにした。メンバーそれぞれのまちづくりへの理解度、興味関心など、お互いの背景や価値観などを共有する場を勉強会の中で設けることでアイデア出しや活動がスムーズになったと感じました。

4 成果物

この勉強会では”実践”に重きを置いており、実際に勉強会を通して企画の立ち上げから実施までを行うこととしています。集まったメンバーが、まちの課題・自分達の学びたいこと・得意なことなどを含めアイデアを出し、実際に港まちのインスタマガジン「OTANIM」（オタニム）の立ち上げを行いました。よくある情報誌ではなく少し違った視点でまちに触れてもらえるようなもの、取材を通して、まちの方との接点を築いていくものになればと考えています。



そのほかトークイベントのアーカイブも作成しました。

●Talk 1 荒井慶悟（調整者の視点）

https://note.com/otanim_note/n/n136d14041d0f

●Talk 2 飯田圭（企画者の視点）

https://note.com/otanim_note/n/n55334e7dd43e

